

分野	スポーツ	
<p>現状と課題(A欄)</p>	<p>「目指すべきまちの姿」に進んでいくための基本的な方向性など(C欄)</p>	
	<p>(基本的な取組の方向性)</p> <p>○中学生くらいまでの子どもたちが、主体的にスポーツを選択・実施できる環境を整える</p>	<p>(具体的な手段・方法、取組など)</p> <p>○地域スポーツのために学校施設を利活用する仕組みを再構築する。 ○子どもたちがスポーツを通して、目標に向け成長できるシステムを充実する。 ○学校をはじめ、地域の社会資源をより一層有効に活用した環境整備を図る。</p>
<p>(現基本構想の進捗検証・評価)</p> <p>○水泳施設が公立学校にあるなど、スポーツ環境は良い。その一方で、区内には、子どもたちが外遊びをする場所が少なかったり、運動部活動の数が減っているなどにより、子どもの体力が落ちている。 ○スポーツ活動の現状は、小学生向け、中学生向け、高齢者向けというように世代に分かれていると感じる。 ○区のスポーツ推進計画は、健康のためのスポーツ・運動がメインであるが、自己肯定感を高めたり、生活の豊かさ、楽しさをもとめたりなど、スポーツに対する認識は変化している。 ○スポーツを通して、やり遂げる力や達成感など、子どもたちが生涯で学び続ける力を養うことができる。</p> <p>(今後の社会環境や区民生活・意識の変化等の新たな視点)</p> <p>○文化と同様、スポーツには、生活を豊かに楽しくする意義がある。今後のスポーツについては、健康との関係のみにとらわれことなく、前述の観点をより重視し、考えていく必要がある。 ○中学生くらいまでのスポーツは、その場が学校部活ではなく、種目によってはクラブチームに行く子どもが圧倒的に多い状況の中、この世代のスポーツ環境をどのように確保するか考える必要がある。 ○生涯スポーツという視点では、同じ競技を行う仲間探しを身近な場所で行えるなど、活動を続けていくことができるソフト面の充実をはかる必要がある。</p>	<p>○区民が生涯スポーツを身近な場所で実施できる環境を整備する</p>	<p>○多世代が集いスポーツを楽しみ、交流する取組を推進する。 ○大人が自ら行っているスポーツを子どもたちに教えるなど、「する」側が「支える」側になる仕組みづくりを図る。 ○インターネット配信でのスポーツ(eスポーツを含む)など、ICT活用の促進を図る。 ○誰もがスポーツを続けていく環境の整備を図るため、障害のある方々が参加しやすいプログラムを一層充実させる。また、体育施設の運営や施設改修に当たっては、今後とも、障害者や関係団体等の意見を聴きながら進める。</p>
<p>目指すべきまちの姿(B欄)</p>		
<p>(目指すべきまちの姿)</p> <p>○スポーツを通して、多世代が生涯にわたり、集い、交流するまち ○スポーツにより、子どもたちが生涯学び続ける力を養うことができるまち ○誰もが身近で気軽にスポーツができるまち</p> <p>(目指すべきまちの姿を設定した考え方など)</p> <p>○国は、スポーツ基本計画において「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしている。 ○今後のスポーツは、健康と切り離し、生活の豊かさ、楽しさを高める観点で、捉えていく必要がある。 ○中学生は、運動部活用でなく、クラブチームに参加するケースが多くなっている。</p>		